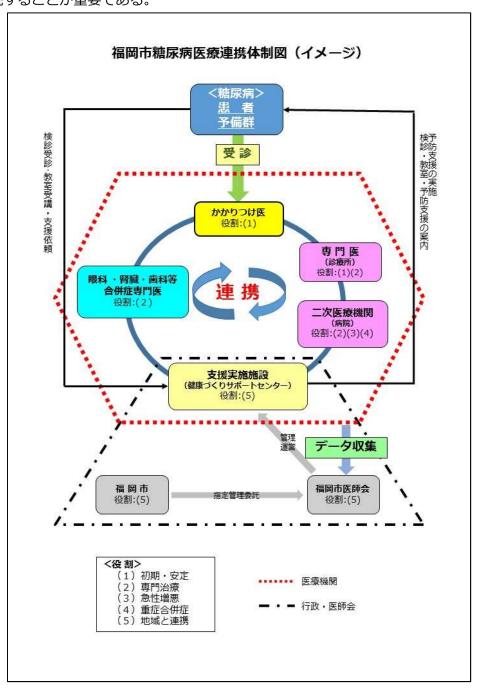
・連携の意義と目的

- ① 糖尿病の重症化や合併症を防止し、健康寿命を延伸することを目的に、糖尿病患者・ 予備群を対象として、かかりつけ医と専門医*(診療所)・二次医療機関(病院)、健康 づくりサポートセンター、眼科医・腎臓専門医・歯科医等の合併症専門医、福岡市医 師会、福岡市が良好な連携を図る。
- ② 本連携により、患者は、複雑化した糖尿病治療の中で、最も適した治療、アドバイスを受けることができ、かつ、かかりつけ医機能の強化を図る。
- ③ 専門医(診療所)・二次医療機関(病院)等へ紹介された患者は、確実に紹介元であるかかりつけ医へ逆紹介を行う。
- ④ 福岡市医師会と福岡市が連携して、上述の目的達成のため、収集したデータを有効活用する。
- ※ここでいう専門医とは、認定糖尿病専門医の資格を有する医師または認定専門医と同等程度の 知識と経験を有する医師とする。

・福岡市糖尿病医療連携体制イメージ

糖尿病患者が良い療養生活を送るためには、糖尿病が早期に発見され、適切な治療・管理を継続することが重要である。



・かかりつけ医から専門医等への紹介基準

●専門医(診療所)及び二次医療機関(病院)への紹介

- ①初診の患者は一度食事・運動指導のための紹介を考慮する。初診ではないが、食事・運動療法に起因する血糖コントロール不良の場合も同様。
- ②血糖コントロール目標値を達成できない状態がおおむね3ヵ月以上持続する場合などは**専門医**への紹介が望ましい。 *1
- ③インスリン療法に不慣れな場合は、その開始を**専門医**に委ねることも一つの方法である。^{※2}
- ④妊娠時または妊娠を希望する糖尿病患者は、**専門医**との連携が必要である。※3
- ⑤高血糖(300mg/dL 以上)で、脱水があり尿ケトン体陽性または高齢者などで脱水徴候が著しい場合、感染症などの急性期の場合などは、**専門医**との連携が必要である。^{※4}

●健康づくりサポートセンターへの紹介

初診の患者は一度食事・運動指導のための紹介を考慮する。 初診ではないが、食事・運動療法に起因する血糖コントロール不良の場合も同様。

●眼科医への紹介

眼科受診は自覚症状に関わらず定期受診が必要である。*5初診は必須。

●腎臓専門医への紹介

腎症は、慢性腎臓病(CKD)地域連携パス^{*6}に沿った検査・治療方針決定のため、腎臓専門医の紹介を考慮する。特に、eGFR30未満、または尿蛋白+かつ eGFR45未満の場合。

●歯科医への紹介

歯科受診は自覚症状に関わらず定期受診が必要である。

- ※1~4 日本糖尿病対策推進会議 編:糖尿病治療のエッセンス 2017 年版,6 頁より引用
- ※5 日本糖尿病対策推進会議 編:糖尿病治療のエッセンス 2017 年版,19 頁より引用
- ※6 福岡市医師会作成:慢性腎臓病(CKD)医療連携を参照

〈紹介目的と紹介先一覧〉

紹介目的	紹介先					
糖尿病教室						
栄養指導	健康づくりサポートセンター 専門医(診療所)					
運脂						
治療方針のアドバイス						
糖尿病診断						
血糖コントロール						
インスリン療法の導入	"					
定期受診						
妊娠	専門医(診療所) 二次医療機関(病院)					
合併症検査・治療						
フットケア						
透析予防指導	" 					
血糖モニタリング						
教育入院						
合併症検査・治療 (急性増悪時・特殊検査)	二次医療機関(病院)					

・各連携機関の役割

本連携における各連携機関の役割は以下のとおり。

かかりつけ医・専門医(診療所)・二次医療機関(病院)

1)紹介(逆紹介)をする場合

診療情報提供書(糖尿病地域連携パス兼用様式)の該当事項を可能な限り記入し、当該 患者へ渡す。

- 尚、複数科への紹介の場合は紹介目的「その他」の欄にその旨記載する。
 - ※紹介を行った場合、診療情報提供料(I)250点が算定可。

2) 紹介(逆紹介)を受けた場合

- ①患者持参の診療情報提供書(糖尿病地域連携パス兼用様式)をコピーする。
- ②コピーした診療情報提供書に未記載の検査データ等があれば追記する。
- ③診療情報提供書の最下段〈紹介先医療機関記入欄〉を記入する。
- ④ 上段点線内の個人情報を伏せた状態で福岡市医師会へFAX送信する。
- ⑤糖尿病連携手帳を発行する。※
- ※糖尿病連携手帳は、医療連携の情報ツールとしてだけでなく日常糖尿病診療のツールとして利用することが推奨される。

眼科医・腎臓専門医・歯科医等合併症専門医

かかりつけ医、専門医(診療所)、二次医療機関(病院)から紹介があった場合

- ①患者持参の診療情報提供書(糖尿病地域連携パス兼用様式)をコピーする。
- ②コピーした診療情報提供書に未記載の検査データ等があれば追記する。
- ③診療情報提供書の最下段〈紹介先医療機関記入欄〉を記入する。
- ④上段点線内の個人情報を伏せた状態で福岡市医師会へFAX送信する。

・データ収集

目 的

本連携体制が円滑に運用されているか一定期間ごとに評価・見直しを行い、その内容や運用方法を改善することにより、福岡市における糖尿病医療連携体制を向上させる。

解析内容

- 1.報告件数
- 2.<u>診療情報提供書</u>及び受診報告書(眼科医·腎臓専門医·歯科医)の項目による性別・年代(個人の特定は不要)、紹介目的等

歯周炎の新しい評価法「PISA」について

PISAとは、Periodontal Inflamed Surface Area の略で、「歯周炎症表面積」と訳されます。

糖尿病をはじめとする全身疾患と歯周炎との関わりは広く知られるようになっていますが、従来の歯周ポケット深さ(PPD)やプロービング時の出血(BOP)といった歯周炎の程度を示す指標は、歯科医療従事者のあいだでは一般的に用いられているものの、あくまで1歯単位の評価であり、

医科歯科連携の現場においてそれぞれの患者の歯周炎の重症度を医科へ伝えるには使用しづらく、また理解されにくいという問題がありました。

そこで、歯周ポケット深さとプロービング時の出血部位の検査結果を用いて、 各患者の歯周炎に罹患している炎症部位の総表面積を算出する方法、PISA が 考案されました。これを用いると細かい1歯単位の歯周炎の評価ではなく、患者ごと の歯周炎の重症度と炎症創の広がりを客観的に数値化し、医科へ伝えることが できるようになります。

具体的には、口の中全体の潰瘍の表面積が

治療前: Ommから治療後: Ommに改善した、

といったイメージでとらえていただけるようになると思います。

【算出方法】

ご自身で計算をしていただくことはありませんが、歯周ポケット深さ(PPD)と プロービング時の出血(BOP)を6点法で計測し、その結果を PISA 計算用の Excel シートに以下の要領で入力することによって PISA を算出します。

(福岡市歯科医師会ホームページからダウンロード可能です)

- PPD の表に各歯の PPD の数値を入力します。
- ② 各歯ごとの BOP(+)の数を「nr of sites with BOP」の欄に入力します(0~6)
- ③ 右下の Total Periodontal Inflamed Surface Area (mm²)のところに結果が表示されます。

原著論文:

Periodontal inflamed surface area: quantifying inflammatory burden Nesse W, et al.

J Clin Periodontol 2008; 35: 668-673

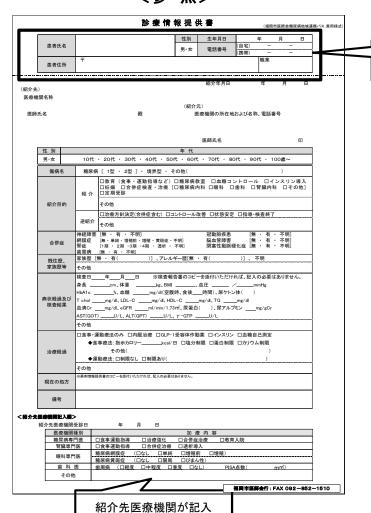
担当医殿

別紙診療情報提供書患者の御高診、御加療の程よろしくお願い申し上げます。

福岡市医師会では、糖尿病の重症化や合併症を防止し、健康寿命を延伸することを目的に、糖尿病患者・予備群を対象として、かかりつけ医と糖尿病専門医・二次医療機関、健康づくりサポートセンター、眼科・腎臓内科・歯科等の合併症専門医、福岡市と共に糖尿病連携体制を構築しています。

本連携体制が円滑に運用されているか一定期ごとに評価・見直しを行うため、別紙情報提供書については、コピーの上、最下段 <紹介先医療機関記入欄>をご記入後、上段点線より上部の個人情報を伏せ、福岡市医師会へFAX(092-852-1510)頂きますようご協力をお願いします。

なお、本連携体制並びに別紙情報提供書等に関するお問い合わせやご相談は、 福岡市医師会地域医療課(TEL 092-852-1501)までご連絡ください。



く参 照>

くお問い合わせ先>

福岡市医師会地域医療課

点線より上部の個人情報を伏せ、福岡市医師会へFA>

TEL 092-852-1501 FAX 092-852-1510 mail: chiiki@citv.fukuoka.med.or.ip

診療情報提供書

(福岡市医師会糖尿病地域連携パス 兼用様式)

-										
					性別	生年月日	年	Ξ	月	日
	患者氏名				男·女	電話番号	(自宅) (携帯)			
İ		Ŧ						職業		
	患者住所									
/ 671 A 44	`					紹介年月日		年	月	日
(紹介先										
医療機	機名称									
					(紹介:				T -	
医師.	氏名			殿	<u> </u>	医療機関の所在地	ひおよひ名を	小、電話で	番号	
			医師氏名							印
Ī	性別				年 代					
	男·女	10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代 ・ 90代 ・ 100歳~								
<u> </u>	海点		= [4 #1		7 O lih /				```	
	傷病名 ———————	柑 /水泥	頁[1型 ・ 2型 -)	
						牧室 □血糖コ: 内科 □眼科 □				
		紹介	□妊娠 □□ぼ □定期受診	T延快宜。心惊	L山相冰州P	7177	M 付 口 F	引服的个个	. 67	の他」
	47 A D 46	1471	7 0 114							
	紹介目的		その他							
)44 AT A	口治療方針決定	(合併症含む)	ロコントロー	レ改善 口状態安	定 口指導	検査約	§ 了	
		逆紹介 その他								
ŀ		神経障害	<u> </u> [無 ・ 有 ・ ^ク	不明]		冠動脈疾患	「無	• 有	· 不明]	
	合併症	網膜症	[無・単純・増列 [1期 ・ 2期 ・3		妊症・不明]		[無	· 有	不明]	
	- 1717-	腎症 歯周病	[1期 · 2期 · 3 [無 · 有 · 不		析 • 不明]	閉塞性動脈	東化症 し無	• 有	· 不明」	
	 既往歴、		<u>に流 </u>		レルギー歴[無	乗・有()] 、	不明		
	家族歴等	その他								-
H			年 月	日 ※ 給杏	報告書のコピ	ーを添付いただ	ナカば 記り	の必要	じけありま	
				_					.10.03 7 0	
		身長cm、体重kg、BMI、血圧、血圧 /mmHg HbA1c%、血糖mg/dl(空腹時、食後時間)、尿ケトン体()								
	病状経過及び	T cholmg/dl, LDL-Cmg/dl, HDL-Cmg/dl, TGmg/dl								
	検査結果		mg/dl、eGFR					mg/g(Or	
		AST(GOT)U/L, ALT(GPT)U/L, γ-GTPU/L								
		その他								
ŀ		□食事・運動療法のみ □内服治療 □GLP-1受容体作動薬 □インスリン □血糖自己測定								
		◆食事療法:指示カロリーkcal/日 □塩分制限 □蛋白制限 □カリウム制限								
	治療経過	その他(
	72,32,2	◆運動療法:□制限なし □制限あり()								
		その他								
			是供書のコピーを添付い							
	現在の処方									
ŀ										
	備考									
L										
〈紹介先	医療機関記入欄	 >								
	紹介先医療機関	受診日	年	月 日						
	医療機関					寮 内 容				
	糖尿病専門医		食事運動指導				育入院			
	腎臓専門]食事運動指導 集民							
	眼科専門	11年 1		(□なし □算(□なし □関		直前 □増殖) €ん性)				

歯周病 (□軽度 □中程度 □重度 □なし)

歯 科 医

その他

福岡市医師会行: FAX 092-852-1510

mm³)

PISA点数(